

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：高松 諭

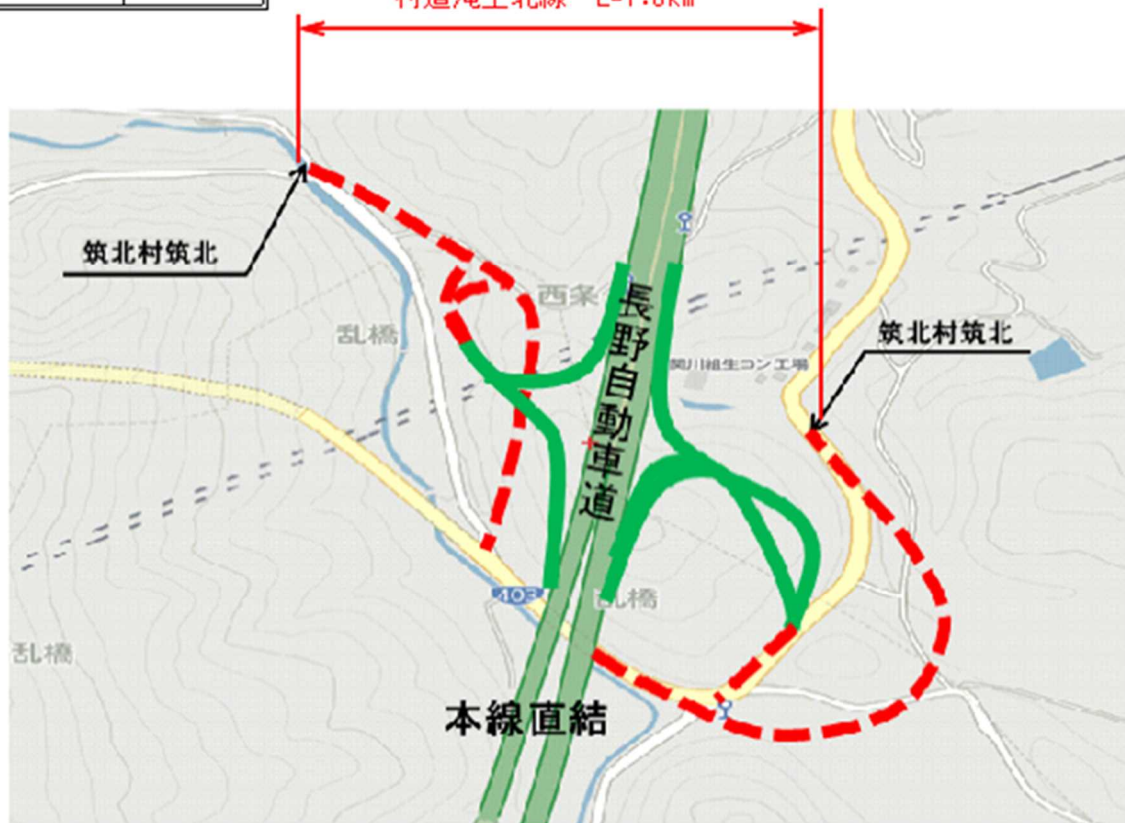
事業名	スマートICアクセス 村道 滝上北線	事業区分	地方道	事業主体	長野県 筑北村
起終点	自：長野県筑北村筑北 至：長野県筑北村筑北			延長	1.0km
事業概要					
村道滝上北線は、長野自動車道に直結で整備するスマートICへのアクセス道路であり、地域の活性化等を目的とし、スマートIC整備と併せて延長約1.0kmを整備するものである。					
H30年度事業化	—		H31年度用地着手	H31年度工事着手	
全体事業費	約10億円	事業進捗率	約82%	供用済延長	0.4km
計画交通量	700台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.2 (残事業) 2.8	(残事業)/(事業全体) 19/42億円 事業費：6.2/30億円 維持管理費：12/12億円	(残事業)/(事業全体) 53/53億円 走行時間短縮便益：42/42億円 走行経費減少便益：8.8/8.8億円 交通事故減少便益：1.5/1.5億円	令和4年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.4 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.5~3.1 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.2~1.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.7~2.9 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.2~1.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.8~2.8 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地を造成中であり、工場から高速道路へのアクセス時間の短縮が見込まれる。また地域の雇用創出に寄与。 ・土砂災害の多い地域であるが、高速道路から村の中心地へ直接物資等の輸送が可能となり、緊急輸送道路ネットワークが強化。 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・地元と合意形成済み。 ・工業団地の民間企業から早期開通を要望されている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約82%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
改良工事を推進して、令和5年度の開通を目指して事業を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していく。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性に変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



凡例	
当該箇所	■■■■■

筑北スマートIC (仮称)
村道滝上北線 L=1.0km



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。